

摂食・嚥下障害（食物の飲みこみの障害）

でお困りの方はおられませんか？

鳥取生協病院 リハビリテーション科 (2014.01)

おいしく食べることは人生の喜びの一つであり、元気に生活するための基本となります。

その「食べること」が難しくなる障害を『摂食・嚥下障害（せつしょく・えんげしょうがい）』
といい、脳卒中の後遺症や神経難病、認知症、加齢、心理的な障害などによって起こることが
あります。

摂食・嚥下障害とは？

食事中にむせたり、飲みにくくなって食べるのが困難になることです。飲み込みだけでなく、
食べ物を口に入れることや、噛むことの障害、さらに認知症のために食べ物を認識できず、「食
べたい」という気持ちが起こらなくなることも含まれます。

最近こんな症状はありませんか？

次のような症状が続くときには、摂食・嚥下障害が疑われます。

- ・ 食事中にむせる
- ・ 飲み物が苦手になった
- ・ 痰が増えた
- ・ 体重が減った
- ・ 食べると疲れる
- ・ 弱い咳がなかなか取れない
- ・ 食べ始めると声がガラガラする
- ・ 飲み込んだ後、のどに違和感がある
- ・ 肺炎を繰り返している
- ・ 食べるのに時間がかかる

このような症状は、摂食・嚥下障害が原因で起こっている場合がありますので、一度専門的
な診察と検査を受けてみられることをお勧めします。

摂食・嚥下障害で起こる問題とは？

- ・ **低栄養・脱水** 栄養が取れず体力が低下したり脱水症状を起こします。
- ・ **誤嚥性肺炎** 食べ物や唾液が誤って気管の方へ入ってしまうことを誤嚥といいます。
誤嚥が原因で起こる肺炎が誤嚥性肺炎。高齢者肺炎の多くが誤嚥性肺炎といわれています。
- ・ **窒息** 食べ物の大きな塊がのどや気管を塞いで、呼吸が出来なくなることがあります。
- ・ **食べる楽しみが損なわれる**

診察の流れ

- ・ **問診** 食事や飲み込みの現状について、簡単な質問をさせていただきます。
- ・ **診察** 食事摂取には姿勢、歯の状態、呼吸の状態など、様々な要素が大きく関わります。
飲みこみの様子を中心に、全身のひととおりの診察をします。このとき、唾液や、少量の水（場合によってはトロミ水）を飲んでいただくスクリーニング検査をすることもあります。
- ・ **検査** 必要に応じて、以下の検査を予定します。
 - **嚥下内視鏡検査**（軟性喉頭鏡を鼻から挿入して喉まで通し、嚥下の様子を観察。検査用食品を食べていただくこともあります。）
 - **ビデオ嚥下造影**（レントゲンで喉の様子を観察しながら、検査用食品を食べていただきます。）
- ・ **食事指導** 安全な食形態・食べ方・姿勢などの指導を行います。
- ・ **訓練** 必要な場合には訓練を行います。

相談・お問い合わせ・診察のご予約

診察は、リハビリテーション科外来で、予約制で行っております。

リハビリテーション科外来、お電話等で事前にご相談いただけますと幸いです。

○お問い合わせ先：

鳥取医療生協 鳥取生協病院 リハビリテーション科 電話 0857-24-7251（代）